

フェアリーランドかねやまスキー場

索道安全報告書

(石ヶ森第一高速リフト)

(石ヶ森第二リフト)

2018 ~ 2019 (平成30年度)

株式会社 会津かねやま

1、御利用者の皆様

当社の索道事業に対しまして、日頃より御利用・御理解を賜り、誠に有難御座います。

当社スキー場は、全国でも有数の豪雪地帯に位置しており、地形上コンパクトなスキー場では御座いますが、「安全の確保」を経営理念の中核とし、社内一丸となり法令の遵守と共に輸送の安全に心がけております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保の為の取り組みや安全の実態について、自ら振り返ると共に広く御理解を頂く為に公表するものです。皆様からのお声を輸送の安全に役立てたく存じます。御意見を頂戴できれば幸いです。何卒宜しくお願い申し上げます。

株式会社 会津かねやま

代表取締役 長谷川 盛雄

2、基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念は、安全の確保です。「安全基本方針」を次に掲げ、社長以下全社員に周知・徹底し、御客様の安全の確保に全力で努力しております。

- ① 一致団結して輸送の安全の確保に努めます。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規定（本規定を含む。以下、「法令等」という。）をよく理解すると共にこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- ④ 職務の遂行に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをします。
- ⑤ 事故・災害等が発生した場合は、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速に、正確に伝え、透明性を確保します。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

(2) 安全目標

安全目標 「安全の確保」

社長以下全社員が目標達成に向け努力し、2018～2019シーズンの索道事故防止に努めました。

3、事故等の発生状況とその再発防止措置

①索道運転事故（索道人身事故）

ありませんでした。

②インシデント（事故の兆候）

ありませんでした。

③行政指導等

ありませんでした。

④災害（地震や暴風雪、豪雪、豪雨）

ありませんでした。

4、輸送の安全確保の為の取り組み

①人材教育

・索道事故例を基に、安全に関する勉強会をシーズン営業開始前に実施しました。

②緊急時対応訓練

・シーズン営業開始前に索道救助訓練を実施。

・会津若松地方広域消防署より講師を招き、救急法及びAED操作訓練の救命講習を実施。

5、安全の為の投資と支出

・安全の維持向上の為、計画的に施設修繕を行っております。

（石ヶ森第一高速リフト）

☆平成18年度 電動機・減速機・開放ビームオーバーホール

☆平成19年度 搬器握索機オーバーホール（75台）

圧索装置整備（1, 4, 8, 11, 14号柱）

ワイヤーロープ磁気探傷検査実施

各支柱索輪ベアリング交換

☆平成20年度 搬器整備（75台）

☆平成21年度 山頂動力取出し装置整備・折り返し滑車部ベアリング交換

☆平成22年度 搬器握索機オーバーホール

（No.1～No.25：ショート・ロングクリップ交換含む）

原動・山頂ストレート部テンションプリー修繕（20箇所）

ロープテスターによる索条の素線断線検査実施

☆平成23年度 1号柱空線側脱検センサー不良補修（断線の為）

搬器握索機オーバーホール

（No.26～No.50：ショート・ロングクリップ交換含む）

☆平成23年度 山頂空線側押送タイヤ交換（1箇所）

- ☆平成24年度 搬器握索機オーバーホール
(No.51~No.75: ショート・ロングクリップ交換含む)
- ☆平成25年度 加減速装置整備60箇所(山頂・山麓各30箇所)
シーケンサの更新
- ☆平成26年度 16号柱索輪オーバーホール(カラー交換)
原動・山頂場内走行レール交換(溶接)
山頂空線側動力取出し調整
リミットスイッチ交換
- ☆平成27年度 4、8号柱索輪交換及びセンター計測
- ☆平成28年度 受索装置整備(1, 2, 11, 12号柱)
モーター・減速機オーバーホール
終端滑車軸ベアリング及びオイルシール交換
山頂、山麓動力取出し装置オーバーホール
- ☆平成29年度 受索装置整備(13, 14, 15号柱)
山頂、山麓場内保安装置交換・調整
ロープの振動・断線検査実施
- ☆平成30年度 握索機分解点検・整備・組立実施
(1番~25番搬器まで)

(石ヶ森第二リフト)

- ☆平成19年度 電動機オーバーホール
- ☆平成21年度 減速機オーバーホール
折返し滑車ベアリング交換
- ☆平成29年度 ロープの振動・断線検査実施

5、当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織とし、安全確保に取り組んでおります。

(組織図については、添付資料「安全管理規定組織体制図」を参照)

6、御利用者の皆様との連携と御願い

- ①御客様の立場に立ったサービスの提供に努めてまいります。御客様から頂いたお声は真摯に受け止め、安全で信頼される索道業務を目指し、期待に応えられるよう努めてまいります。
- ②リフト乗車時の注意事項
 - ・乗り方に不安のある方や乗りなれない御客様は、係員に申し出て下さい。
 - ・搬器(イス)から飛び降りたり、また搬器(イス)を揺らさないでください。

- ・このリフト(高速リフト)は、強風時自動で停止することがあります。停止した際は風が治まり次第再開致しますので、慌てずそのままお待ち下さい。
- ・衣類・携帯品等が搬器(イス)に巻き付かない様に注意して下さい。

7、御連絡先

安全報告書への御感想、当社の安全への取組みに対する御意見を御寄せ下さい。

〒968-0012

福島県大沼郡金山町大字小栗山字上野 2335-12

株式会社社会津かねやま フェアリーランドかねやまスキー場

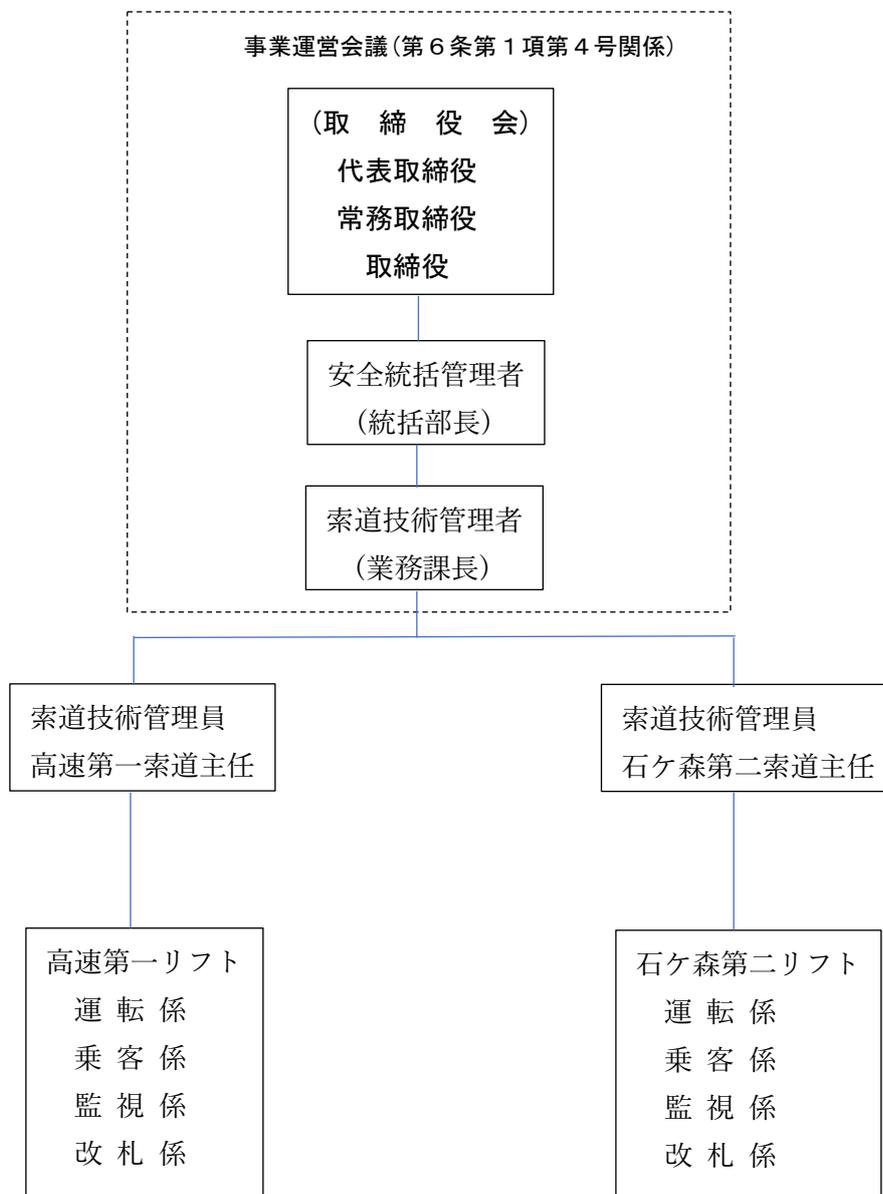
TEL 0421-54-2022 FAX 0421-54-2021

URL <http://okuaizukaneyama.blog.jp/>

Mail info-fairyland@aizukaneyama.co.jp

添付資料

「安全管理規定組織体制図」



代表取締役	輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	索道事業の安全確保に関する業務を統括する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理、その他技術上の事項に関する業務を統括する。
索道技術管理員	索道技術管理者の職務を補佐する。